

造影MRI検査に関する説明と同意書

造影剤ガドリニウムを使用した検査を受けられる方へ

(ID:)

有効期日(3ヶ月)

年 月 日迄

1. 目的と方法

- ① MRI検査は、大きな円形筒の磁石の中に入り体に電磁波を当てて、人体の様々な断面像を撮る検査です。
撮影中は装置から工事現場のような大きな音がします。強力な磁石の中での検査となりますので、検査室内に金属製品や電子機器を持ち込めません。体表面や体内にペースメーカーなどの金属が入っている方は、発熱などの危険性が生じることがあり、担当医の判断で検査を行わない場合があります。
- ② 検査目的によっては、より正確な診断・血管や臓器の状態を明らかにするために造影剤（ガドリニウム）の注射が必要になる場合があります。ただし、重症の腎機能障害やアレルギー体質がある場合には造影剤を使用できないことがあります。

2. 造影剤の副作用

造影剤は安全な薬剤ですが、下記のような副作用が生じることがあります。異常が出たときや何か変だと感じたら、ためらわずすぐにお申し出ください。

軽い副作用

発生頻度は100～200人につき1人程度、約1～0.5%の確率で起こります。

*吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、発疹、蕁麻疹、かゆみ、動悸、咳など。多くは心配ありません。

重い副作用

発生頻度は10,000人につき5人以下、約0.05%未満の確率で起こります。

*ごく稀に息苦しさ、血圧低下、意識消失が起こることがあります。

*重症の腎機能障害がある場合には、皮膚に線維化を起こす事があります。（腎性全身性線維症）

*非常に稀ですが病状・体質によっては、10万人に1人(0.001%)の割合で死亡例も報告されています。

◆副作用は造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、検査中は看護師・技師が患者様の様子を観察しています。万一副作用が起きた場合は、必要に応じて最善の処置を行います。

◆こうした副作用は事前に予測することが困難です。重症の腎機能障害やアレルギー体質の方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、造影検査を行えない場合があります。

検査をできるだけ安全確実に行うために「問診票」のご記入をお願いし、確認させていただきます。

3. 検査後の注意

*造影剤注射後は水分をいつもより多く飲んでください。

注意

医師に水分制限をされている方は医師の指示どおりにしてください。

*稀に造影剤注射後、数日経過してから症状が出る場合があります。その際はご連絡ください。

以上の説明をご理解いただいた上で、同意書に署名をお願い致します。この同意書は検査に同意された日から3ヶ月間は有効とさせていただきますが、同意された後でも、いつでも撤回することができますし、次の造影検査までに、お気持ちが変わられた場合には、医師、看護師にお申し出ください。

【造影MRI検査の説明】

私は患者様に上記事項について説明しました

年 月 日

医師氏名

【造影MRI検査の同意書】

私は造影検査の説明を受け、目的や方法、危険性について記載事項を読み理解したので、造影MRI検査を受けることに同意します。また万一副作用が現れた場合には必要な処置を受けることを承諾します

年 月 日

ご本人の署名

*未成年・本人記入が困難な場合

代理人の署名

(続柄)